

# 宮古諸島の文化財



# 宮古諸島



道路凡例

	国道		県道主要地方道		県道一般道		高速道路		市町村境界線
--	----	--	---------	--	-------	--	------	--	--------



おきなわ 沖縄で発見されている最古の人類は、1962(昭和37)年に那覇市山  
した ちよう だい いち どう けつ やま した どう じん そう ほう しゃ  
下町第一洞穴で発見された山下洞人です。同じ層の炭化物を用いて放射  
せい たん そ ねん だい そく てい  
性炭素年代測定を行ったところ約3万6000年前という値が出ました。  
じん こつ おさな こ ども こつ かく しょう さい  
しかし人骨は幼い子供の骨格の一部分しかないので、人類学的な詳細を  
ふ じゅう ぶん  
知るには不十分です。

や え せ ちよう あざ なが ちろう  
八重瀬町字長毛から1968(昭和43)年から1970(昭和45)年に発見  
された港川人は、約2万年前の人類で、ほぼ完全に骨格がそろそろものが  
き ちよう じん こつ  
4体あり、日本における最も貴重な人骨のひとつです。

これまで、やま した どう じん い ころ つめ が た もん  
山下洞人や港川人以降、約7000年前に南島爪形文土器が  
い せき  
登場するまでの間は遺跡が見つからず、空白の時代とされていました。と  
い し が き じま しら ほ さお ね た ぼる どう けつ い せき  
ころが2010(平成22)年に石垣島の白保竿根田原洞穴遺跡から、少な  
じん こつ  
くとも19体分の人骨が発見されました。人骨そのもので放射性炭素年  
じん こつ ほう しゃ せい たん そ ねん  
代測定を行ったところ、最も古い人骨は約2万7000年前のものだと判  
だい そく てい じん こつ はん  
明したのです。他にも1万8000年前～1万5000年前の人骨も発見さ  
めい じん こつ  
れています。さらに2011(平成23)年には、なん じよう し どう い  
南城市にあるサキタリ洞遺  
せき  
跡から約2万3000年前に使われたとされる世界最古の釣り針や2万年  
つ はり  
～1万4000年前の人骨が発見されました。

しら ほ さお ね た ぼる どう けつ い せき どう い せき  
これら白保竿根田原洞穴遺跡やサキタリ洞遺跡の発見は、これまで空  
白の時代とされていた時期に光をあてる大きな発見として話題をよんで  
います。



# アラフ遺跡

宮古島市城辺新城



24° 45' 37.08" N  
 125° 25' 22.47" E



## 用語解説

- 焼石による調理  
 多数の焼いた石の上にバナナ等の大きな葉で包んだ食材をのせて蒸す調理法。
- 浦底遺跡  
 宮古島市城辺浦底に位置する今から2800~900年前の「無土器期」の遺跡。製作途上品も加えると200点余りのシャコガイ製貝斧が出土している。
- サメ歯有孔製品  
 サメの歯に孔をあけた製品。磨きを加えているものもあり、アクセサリーとして、あるいは呪術的な力を得るために身に付けたことが考えられる。
- シェルディスク  
 円盤の形をした貝製品。

固い石の無い宮古島では、大きなシャコガイを削って斧にしていたんだね。



シャコガイ製の斧は、丸太の木を削って、舟をつくる時などに使われたのではないかと考えられるのだよ。



## 遺跡遠景



アラフ遺跡は、先島先史時代後期(無土器期)の遺跡です。この時期、宮古・八重山諸島では、土器が用いられておらず、従って出土しません。発掘調査では、シャコガイを素材とした斧、焼けた石や灰が円形にまとめられた集石遺構等が確認されていることから、焼石による調理が行われていたことがわかります。これらは宮古島以北では見られない独自の文化で、より南方の地域にルーツがあると考えられています。アラフ遺跡は、浦底遺跡とともにこの時期(無土器期)を代表する遺跡です。

当遺跡は、サンゴ礁の海を望む砂丘に位置しており、多くの貝や獣魚骨も見つかったことから、海の資源を有効に活用している他、イノシシ等も食料としていたことがわかっています。

出土遺物には、シャコガイ製貝斧、サメ歯有孔製品、シェルディスクなどの豊富な貝・骨製品があります。特に4点の貝斧と1点の枝サンゴをまとめて埋めた「貝斧埋納遺構」の発見は、世界でも例のない重要な成果となっています。

【参考文献】  
 ・アラフ遺跡発掘調査団. 2003. 『アラフ遺跡調査研究I』. 六一書房.



● 調査状況



世界的に例のない「貝斧埋納遺構」が発見された遺跡



● 集石遺構と貝斧埋納遺構



かい斧 まいのみ  
● 貝斧埋納遺構



● 集石遺構



# 宮古島市

市指定史跡

## すみや 住屋 (俗称:尻間) いせき 遺跡

宮古島市平良字西里



24° 48' 21.27" N

125° 16' 51.83" E

市指定史跡 (昭和57年10月21日)

### 用語解説

#### ● 竪穴住居跡

地面を浅く掘り下げて床面とし、その上部に屋根を葺く構造の住居の跡。

#### ● 平地式住居跡

竪穴住居のように地面を掘り込まず、平地に住を立てて構築した住居の跡。

#### ● 石敷住居跡

地面を掘り下げて半地下にし、床面に平たい石を敷き詰めた住居の跡。

#### ● 青磁

釉薬が緑が青色系の色調となる磁器。古くから中国をはじめ、朝鮮、日本、ベトナム、タイ、ミャンマーなどで生産されている。日本や沖縄で出土する中国産青磁の多くは、元から明代にかけて浙江省の龍泉窯及びその周辺で生産されたもの。

#### ● 白磁

白磁の素地に透明釉をかけ、高温で焼成した磁器。古くから中国をはじめ、朝鮮、日本のほか、ヨーロッパでも生産される。沖縄で出土する中国産白磁は、稀に定窯産もあるが、大部分は明代の景德鎮や中国南部を産地とする。

遺跡近景



すみや いせき 住屋遺跡は1982(昭和57)年に発掘調査が行われ、14世紀頃とされる竪穴住居跡1基と、16～17世紀とされる平地式住居跡や石敷住居跡等、グスク時代から近世初期にかけての住居跡が発見されました。この遺跡は住居の移り変わりを考える上で非常に重要です。

また、宮古島で焼かれた土器を中心に、青磁や白磁、褐釉陶器などの中国産陶磁器や、銭貨等、当時の交易活動を示す多くの遺物が出土しました。住屋遺跡は、グスク時代の遺構を保護するため調査終了後に埋め戻しを行っています。その後、宮古島のグスク時代以降の暮らしを知る上で重要な遺跡として、1982(昭和57)年10月21日に宮古島市(旧平良市)の史跡として指定を受けました。

#### 【参考文献】

- ・宮古島市教育委員会。2011。  
『宮古島市の文化財：平成22年度宮古島市文化財要覧』。

#### ● 褐釉陶器

酸化鉄を含む釉薬をかけて焼成した陶器。

#### ● 交易

互いに品物の交換や売買をすること。



掘立柱建物跡



## 宮古島のグスク時代から近世初期にかけての 住居の移り変わりがわかる遺跡



柱穴（底に根固め石）



竪穴住居と  
平地式住居の  
どちらが  
住みやすいかな。

市街地中心部での遺跡保存について様々な意見が出たけれど、市指定史跡として保存されることになったのだよ。



竪穴式住居跡







# 八重山諸島の文化財



# 八重山諸島









しらほさおねたばる  
**白保竿根田原**  
 どうけついせき  
**洞穴遺跡**

石垣市字白保



24° 24' 0.74" N  
 124° 14' 45.43" E

用語解説

●解剖学的な位置関係

動物が生きている時、骨が関節でつながっていることで生じる、骨同士的位置関係。白骨化した骨が、この位置関係を保っている場合、遺骸の姿勢がわかる。また、他の場所から流れ込んだものでないことも推定できる。

●崖葬墓

崖の中腹にある岩陰を利用した墓地。



2万年以上も前に石垣島には、人類が居たことがわかったんだね。

全身骨格の残る人骨4体は全て男性で、1号が20歳代前半で推定身長158.6cm。2号は高齢で164.9cm。3号は20歳代前半で163.4cm。4号は高齢で165.2cmということがわかったのだよ。また、この遺跡は約2万年前から500年前まで、断続的に利用されていたのだよ。



遺跡近景



石垣島の東海岸に位置する、旧石器時代(約2万8000年前)から近世(約300年前)までの洞穴遺跡で、遺跡の一部は南ぬ島石垣空港内に現地保存されています。これまで八重山諸島では、下田原期(約4000~3500年前)を最古の文化としていましたが、白保竿根田原洞穴遺跡の発掘調査により、旧石器時代に位置づけられる化石人骨の破片が約1100点、約20人分も出土しており、当時の石垣島に人類が渡っていたことがわかりました。その中でも、約2万7000年前の4号人骨が、人体の解剖学的な位置関係を保った状態で発掘されたこと等から、洞穴は旧石器時代の墓地として利用されたと考えられます。これは墓地としては国内最古の事例となります。

その他、完新世初期(約9000年前)の土器や石器、食べるために石器で解体した傷が残るイノシシの骨、下田原期(約4000年前)土器や石器、牙製品、崖葬墓、中森期(約500年前)の炉跡や中国・タイ産陶磁器、土器などが確認されており、長期間にわたって洞穴が利用されていたことがわかっています。

発掘調査は終わりましたが、今後も出土遺物の分析・研究は続けられます。その結果から将来、日本人の起源や旧石器人の生活の様子、顔や体格等が再現できるかもしれません。



発掘調査風景



国内最古の旧石器時代の化石人骨を多数発見



白保3号人骨検出作業



白保4号人骨出土状況

